

山の日情報

(第 8 号)

平成28年9月8日

秋 田 県 生 活 環 境 部
自 然 保 護 課

【活動記録】

7月18日(月)に大白森避難小屋の防腐塗装及び登山道の刈払いを行いました。
大白森避難小屋は、平成15年に秋田県で建築した施設ですが、建築以来、本格的な塗装作業は行われておらず、当施設を効果的に維持するための対策が課題となっていました。

今回の防腐塗装は塗料や塗装に使用する道具などの荷揚げが伴い、更に登山時間も長いことから、一般参加者の募集は行わず、登山経験が豊富な高校山岳部と社会人山岳会の皆さんにご協力をお願いし、ご賛同をいただいた上での実施となりました。

当日は、大曲高校、大曲工業高校、角館高校の生徒17名と山岳会をはじめとする関係機関から14名の計31名が参加し、それぞれが塗装に必要となる塗料や道具を分担して出発しました。前日から降り続けていた雨は上がったものの、道中はぬかるみや滑りやすい斜面などが続き、足を取られたり、ぬかりながらの登山となりました。それでも、生徒の皆さんは日頃鍛えられた体力を存分に発揮し、休憩もほどほどに、軽快なフットワークで歩みを進め、大人がそれに引っ張られる形で、全員が予定どおり大白森避難小屋に到着しました。



塗装・刈払い作業は時間に限りがあるため、到着後程なくして、昼食と作業を分担しながら作業をはじめました。塗装は生徒が主体となり、塗料の付着を防ぐため軽易なレインコートを身につけ、ハケや伸縮性のローラーを使用して約1時間掛けて1階部分を中心に行いました。塗装を経験したことのある生徒は少なく、塗料のさじ加減に戸惑いながら、塗料のはね返りを浴びたり、地面にこぼしたりと和気あいあいとした和やかな雰囲気の中で楽しみながらの作業となりました。また、周辺の刈払いは山岳会の皆さんに行っていただき、一帯をきれいに整えていただきました。



一連の作業を終えて下山しましたが、途中の湿原では、曇り空から時より青空が顔を出し、部分的に周辺の山々を眺めることができたほか、シャクナゲの花が咲きはじめ、ホシカラスを間近に確認するなど、自然の豊かさを肌で感じるとともに、自然環境保全の重要性を再認識することができました。

今回の事業にご参加いただいた皆様には、ご協力をいただいたことに対しまして厚くお礼を申し上げます。

（参加者の感想）

この度は、角館高校山岳部として、山の日制定記念事業に参加させていただきました。私たち角館高校山岳部員は、大白森山荘へ向かい、それに伴い、防腐剤塗りと刈払いを行いました。天候はあいにく曇りで、周囲の山々は見渡せず、少しさみしい山行となりました。それでも、大白森山荘に着いてからの防腐剤塗りと刈払いをする姿は、皆いきいきしていました。この活動は7月18日海の日という祝日に行われたため、私たちの多くはあまり乗り気ではありませんでしたが、この時の皆の表情を見て、やはりこの活動に参加して良かったなと思いました。私たち角館高校は、山岳部がある高校の中でもっとも駒ヶ岳に近い高校です。このことを誇りに思って、今回のような活動に積極的に参加していきたいと思います。そして地元の山がもっともっと輝けるように、これからも努力していきたいと思います。（角館高校山岳部：木元農様）